

(8) 花き類・観葉植物

RPA

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	備考
青枯病	ガスタード 微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(1*)	劇	30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	ドコロール	クロビクリン燻蒸剤	8B	劇	<床土・堆肥>1穴当り 3~6mL<圃場>1穴当り 2~3mL			土壌くん蒸	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)	
	バスマド 微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(1*)	劇	30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
萎黄病	ガスタード 微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(1*)	劇	20~30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	バスマド 微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(1*)	劇	20~30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
萎凋病	ガスタード 微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(1*)	劇	20~30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	バスマド 微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(1*)	劇	20~30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
萎黄病(ワザリ菌)	クロビクリン	クロビクリンくん蒸剤	8B	劇	<床土・堆肥>1穴当り 3~5mL<圃場>1穴当り 2~3mL			土壌くん蒸	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)	
	ドコロール	クロビクリン燻蒸剤	8B	劇	<床土・堆肥>1穴当り 3~6mL<圃場>1穴当り 2~3mL			土壌くん蒸	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)	
うどんこ病	アピルアゾール	ヘキサコゾール水和剤	3		1000倍	150~300%/10a	発病初期	散布	7回以内	ばら、きくを除く
	エコビタ液剤	還元澱粉糖化物液剤	[-]		100~200倍	100~300%/10a	発生初期	散布	-	
	ガッパン乳剤	フルアール乳剤	U13		5000倍	100~300%/10a	発病前~発病初期	散布	2回以内	
	カダグリーン	炭酸水素カリウム水溶液	NC		800倍	150~500%/10a	発病初期	散布	-	きくを除く
	サンクサスル乳剤	脂肪酸グリセリド乳剤	[-]		600倍	150~500%/10a	-	散布	-	
	バシオTF顆粒水和剤	シメチジン・トリアジン水和剤	3,U6		2000倍	100~300%/10a	-	散布	2回以内	
	ホリキシAL水溶液	ホリキシ水溶液	"[-](1*)		2500倍	100~300%/10a	発病初期	散布	8回以内	
モレスカ水和剤	キネキシン系水和剤	"UN(1*)		2000~3000倍	100~300%/10a	発病初期	散布	10回以内	カネシオンを除く	
株腐病	ガスタード 微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(1*)	劇	20~30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	バスマド 微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(1*)	劇	20~30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	リゾレックス水和剤	トルコシメチン水和剤	14		500~1000倍	3%/㎡	生育期	土壌灌注	5回以内	
球根腐敗病	ガスタード 微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(1*)	劇	20~30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	バスマド 微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(1*)	劇	20~30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
菌核病	トップジンM水和剤	チオファートメチル水和剤	1		1500倍	100~300%/10a	-	散布	5回以内	トルコシキウを除く
茎腐病	リゾレックス水和剤	トルコシメチン水和剤	14		500~1000倍	3%/㎡	生育期	土壌灌注	5回以内	
黒斑病	ホリキシAL水溶液	ホリキシ水溶液	"[-](1*)		2500倍	100~300%/10a	発病初期	散布	8回以内	
根頭がんしゅ病	ガスタード 微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(1*)	劇	20~30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	バスマド 微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(1*)	劇	20~30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
首腐病	ガスタード 微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(1*)	劇	20~30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	バスマド 微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(1*)	劇	20~30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
白絹病	ガスタード 微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(1*)	劇	20~30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	バスマド 微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(1*)	劇	20~30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	モカトコアブ #40	フルニル水和剤	7		1000~2000倍	100~300%/10a	-	株元散布	3回以内	
	リゾレックス水和剤	トルコシメチン水和剤	14		500~1000倍	3%/㎡	-	株元灌注	5回以内	
立枯病	ガスタード 微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(1*)	劇	20~30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	バスマド 微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(1*)	劇	20~30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	リゾレックス水和剤	トルコシメチン水和剤	14		500~1000倍	3%/㎡	生育期	土壌灌注	5回以内	
	リゾレックス粉剤	トルコシメチン粉剤	14		50kg/10a		定植前	土壌混和	1回	

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	備考
苗立枯病(リゾクトニア菌)	ガスタード 微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(1*)	劇	20~30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	バスタード 微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(1*)	劇	20~30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
灰色かび病	アフェートフロアブル	ベンチピリト 水和剤	7		2000倍	100~300g/10a	発病初期	散布	3回以内	きく、ゆり、チュウリップ、りんどうを除く
	ゲッター水和剤	ジエトフェンカルブ・チオファネートメチル 水和剤	1,10		1000倍	100~300g/10a	-	散布	5回以内	ひまわり、ゼラニウムを除く
	セビアーフロアブル20	フルジキニル水和剤	12		1000倍	100~300L/10a	発病前~発病初期	散布	4回以内	きんせんか、ホワイトトレースフラワーを除く
	チノックフロアブル	チナム水和剤	M3		500倍	100~500g/10a	発病初期	散布	6回以内	りんどうを除く
	トレンックスフロアブル	チナム水和剤	M3		500倍	100~500g/10a	発病初期	散布	6回以内	りんどうを除く
	フルビカフロアブル	メバニピル水和剤	9		2000~3000倍	100~300g/10a	発病初期	散布	5回以内	ばら、スターチス宿根かすみそう、ゆり、りんどうを除く
	ボリキシンAL水溶剤	ボリキシン水溶剤	"「-」(1*)		2500倍	100~300g/10a	発病初期	散布	8回以内	
半身萎凋病	ガスタード 微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(1*)	劇	20~30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	ドコロール	クロビクシニル燻蒸剤	8B	劇	<床土・堆肥>1穴当たり3~6mL<圃場>1穴当たり2~3mL			土壌くん蒸	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)	
	バスタード 微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(1*)	劇	20~30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
ピシウム・リゾクトニア菌による病害(苗立枯病等)	オンサイト 水和剤80	キャブタン水和剤	M4		種子重量の0.2~0.4%	-	は種前	種子処理機による種子粉衣	1回	
アザリウム・リゾクトニア菌による病害(苗立枯病等)	ホーマイ水和剤	チナム・チオファネートメチル水和剤	1,M3		種子重量の1.0%		は種前	種子処理機による種子粉衣	1回	観葉植物適用外
リゾクトニア菌による病害(苗立枯病等)	バシタック水和剤75	メトロニル水和剤	7		乾燥種子重量の0.4%		は種前	種子処理機による種子粉衣	1回	観葉植物適用外
	モソカト水和剤	フルテニル水和剤	7		種子重量の0.5~1.0%		は種前	種子処理機による種子粉衣	1回	観葉植物適用外
アザシ	オトラン水和剤	アフェート水和剤	1B		1000倍	100~300g/10a	発生初期	散布	5回以内	
	スミチン乳剤	MEP乳剤	1B		1000倍	100~300g/10a	-	散布	6回以内	
アザミヤ類	アゲリメック	アバメチン乳剤	6	劇	500倍	100~300g/10a	発生初期	散布	5回以内	カベラを除く
	アファム乳剤	エマメチン安息香酸塩乳剤	6		2000倍	100~300g/10a	発生初期	散布	5回以内	
	オトラン水和剤	アフェート水和剤	1B		1000~1500倍	100~300g/10a	発生初期	散布	5回以内	
	オトラン粒剤	アフェート粒剤	1B		3~6kg/10a		発生初期	株元散布	5回以内	きく、宿根スターチス、カーネーション、アリウム、たであいを除く
	オコル粒剤5	ベンラカルブ 粒剤	1A		6kg/10a		生育期	株元散布	3回以内	きく、ストックを除く
	スミチン乳剤	MEP乳剤	1B		1000倍	100~300g/10a	-	散布	6回以内	
	ダブールシューター-SE	脂肪酸グリセリド・ステロイド 水和剤	"「-」,5		1000倍	100~300g/10a	発生初期	散布	2回以内	
	ディオシSC	スピネトリル水和剤	5		2500~5000倍	100~300g/10a	発生初期	散布	2回以内	りんどうを除く
	バチフロアブル	トルフェンピリト 水和剤	"21A(1*)	劇	1000倍	100~300g/10a	発生初期	散布	4回以内	
	モスピラン顆粒水溶剤	アタミアリド 水溶剤	4A	劇	2000倍	100~300g/10a	発生初期	散布	5回以内	ストック、りんどうを除く

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	備考	
アブラムシ類	アデイオン乳剤	ベルメリン乳剤	3A		2000~4000倍	100~300%/10a	発生初期	散布	6回以内	はばたんを除く	
	アドマイアフロアブル	イミダクロプリド水和剤	4A	劇	2000倍	100~200%/10a	発生初期	散布	5回以内	きくを除く	
	エコビタ液剤	還元澱粉糖化物液剤	[-]		100倍	100~300%/10a	発生初期	散布	-		
	ホトシ水和剤	アセフェート水和剤	1B		1000~1500倍	100~300%/10a	発生初期	散布	5回以内		
	ホトシ粒剤	アセフェート粒剤	1B		3~6kg/10a		発生初期	株元散布	5回以内	きく、宿根スターヌ、カネショウ、アリウム、たであいを除く	
	コト顆粒水和剤	ビリファキゾン水和剤	9B		4000倍	100~300L/10a	発生初期	散布	4回以内	チューリップ、ばらを除く	
	スカトロアブル	トラロトリ水和剤	3A	劇	2000~3000倍	100~300%/10a	-	散布	5回以内	宿根かずみそう、グレンジアス、トホギ、キョウリンどうを除く	
	チヌ顆粒水和剤	ビメトロジン水和剤	9B		5000倍	100~300%/10a	発生初期	散布	4回以内		
	ベストガード水溶剤	ニテンピラム水溶剤	4A		1000~2000倍	100~300%/10a	発生初期	散布	4回以内	ばら、きくを除く	
	ベストガード粒剤	ニテンピラム粒剤	4A		1~2g/株			発生初期	生育期株元散布	4回以内	きく、きんせんかを除く
									定植前	培土混和	1回
モビランジェット	アセミアリドくん煙剤	4A	劇	くん煙室容積400立方m(床面積200㎡×高さ2m)当り50g		発生初期	くん煙	5回以内	トホギ、キョウを除く		
モビラン顆粒水溶剤	アセミアリド水溶剤	4A	劇	2000~4000倍	100~300%/10a	発生初期	散布	5回以内	ストック、りんどうを除く		
ロドイ乳剤	フェンプロピリン乳剤	3A	劇	1000倍	100~300%/10a	-	散布	6回以内			
材木コガ	アケルアブル	メタルジソン水和剤	22B		1000倍	100~300%/10a	発生初期	散布	6回以内	きくを除く	
	アファム乳剤	エマクタン安息香酸塩乳剤	6		1000倍	100~300%/10a	発生初期	散布	5回以内		
	ディアASC	スピネラム水和剤	5		2500~5000倍	100~300%/10a	発生初期	散布	2回以内	りんどうを除く	
	フェニックス顆粒水和剤	フルベンジアミド水和剤	28		2000倍	100~300%/10a	発生初期	散布	4回以内	きく、りんどうを除く	
	ブレオアブル	ビリダリン水和剤	UN		1000倍	100~300%/10a	発生初期	散布	4回以内		
カブリ類	ナメクリン3	メタラテピド粒剤	[-]		1~3kg/10a		-	株元散布	6回以内		
カムシ類	アデイオン乳剤	ベルメリン乳剤	3A		2000倍	100~300%/10a	発生初期	散布	6回以内	はばたんを除く	
コジラミ類	エコビタ液剤	還元澱粉糖化物液剤	[-]		100~200倍	100~300%/10a	発生初期	散布	-		
	コト顆粒水和剤	ビリファキゾン水和剤	9B		4000倍	100~300L/10a	発生初期	散布	4回以内	チューリップ、ばらを除く	
	チヌ顆粒水和剤	ビメトロジン水和剤	9B		5000倍	100~300%/10a	発生初期	散布	4回以内		
	ディアASC	スピネラム水和剤	5		2500倍	100~300%/10a	発生初期	散布	2回以内	りんどうを除く	
	ベストガード水溶剤	ニテンピラム水溶剤	4A		1000倍	100~300%/10a	発生初期	散布	4回以内	ばら、きくを除く	
	ラノアブ	ビリアロキフェン剤	7C		50㎡/10a		栽培期間中	作物体の付近に設置する。	1回	施設栽培	
	センチュウ類	ドロコロ	クロビクリン燻蒸剤	8B	劇	<床土・堆肥>1穴当り3~6mL<圃場>1穴当り2~3mL		土壌くん蒸	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)		
ナメジリ類	ナメクリン3	メタラテピド粒剤	[-]		1~3kg/10a		-	株元散布	6回以内		
キノコ類	ドロコロ	クロビクリン燻蒸剤	8B	劇	<床土・堆肥>1穴当り3~6mL<圃場>1穴当り2~3mL		土壌くん蒸	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)			
	キノコイ	ベルメリン粒剤	3A		3g/㎡		生育初期	株元散布	6回以内		
コジラミ類	ガスタード微粒剤	ダゾメット粉粒剤	*8F(*)	劇	20~30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回		
	バスマド微粒剤	ダゾメット粉粒剤	*8F(*)	劇	20~30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回		

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	備考
ハモシヨク	フェニックス顆粒水和剤	フルベンジアミド水和剤	28		2000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	4回以内	きく、りんどうを除く
	ブレイブアンプル	ビリダリル水和剤	UN		1000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	4回以内	
	マツ乳剤	ルフェスロン乳剤	15		2000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	5回以内	きくを除く
ハダニ類	アグリメック	アバメクチン乳剤	6	劇	500倍	100～300%/10a	発生初期	散布	5回以内	カネベラを除く
	エコビタ液剤	還元澱粉糖化物液剤	「-」		100倍	100～300%/10a	発生初期	散布	-	
	カネマトプロアンプル	アセシフル水和剤	20B		1000倍	150～300%/10a	-	散布	1回	ばら、きく、カネシヨシ、デムフィヨムを除く
	コフプロアンプル	クロルフェニル水和剤	13	劇	2000倍	150～300%/10a	発生初期	散布	2回以内	きく、スタッフを除く
	サンクスター乳剤	脂肪酸グリセリド乳剤	「-」		600倍	150～500%/10a	-	散布	-	
	ダニサラブプロアンプル	ソルメトフェン水和剤	25A		1000倍	100～350%/10a	発生初期	散布	2回以内	
	ダニトロンプロアンプル	フェニロキシメト水和剤	21A		1000～2000倍	150～300%/10a	発生初期	散布	1回	
	テトロン乳剤	テトラジメトロン乳剤	12D		500～1000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	10回以内	
	ミソラン水和剤	ヘキサチアゾクス水和剤	10A		2000～3000倍	100～300%/10a	-	散布	2回以内	
	バロックプロアンプル	エトキサール水和剤	10B		2000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	1回	
	ビラカEW	テラフェンピラト乳剤	"21A(I*)	劇	2000倍	150～300%/10a	発生初期	散布	1回	カネシヨシ、きくを除く
	ロディール乳剤	フェンロトリン乳剤	3A	劇	1000倍	100～300%/10a	-	散布	6回以内	
粘着くん液剤	ヒドロキシロビル化リン酸架橋デンプン液剤	「-」		100倍	150～300%/10a	発生初期	散布	-		
ハダニ類	スミチオン乳剤	MEP乳剤	1B		1000倍	100～300%/10a	-	散布	6回以内	
ハダニ類	アグリオン乳剤	ベルメリン乳剤	3A		2000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	6回以内	はばたんを除く
	スミチオン乳剤	MEP乳剤	1B		1000倍	100～300%/10a	-	散布	6回以内	
ハダニ類	アクトラ顆粒水溶剤	チアメトキサム水溶剤	4A		2000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	6回以内	宿根アタ、トルキキョウ、きくを除く
	アファム乳剤	エマメクチン安息香酸塩乳剤	6		1000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	5回以内	
	ディアノSC	スピネトラム水和剤	5		2500～5000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	2回以内	りんどうを除く
ハダニ類	ドコロール	クロルピクリン燻蒸剤	8B	劇	<床土・堆肥>1穴当たり 3～6mL<圃場>1穴当たり 2～3mL		土壌くん蒸	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)		
マメアグリオン	トリガード液剤	シロメジン液剤	17		1000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	4回以内	
ミカンキョウミヤ	アクトラ顆粒水溶剤	チアメトキサム水溶剤	4A		1000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	6回以内	宿根アタ、トルキキョウ、きくを除く
	コフプロアンプル	クロルフェニル水和剤	13	劇	2000倍	150～300%/10a	発生初期	散布	2回以内	きく、スタッフを除く
ヨウムシ類	アグリオン乳剤	ベルメリン乳剤	3A		2000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	6回以内	はばたんを除く
	アファム乳剤	エマメクチン安息香酸塩乳剤	6		1000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	5回以内	
	ホトラン水和剤	アフェート水和剤	1B		1000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	5回以内	
	ホトラン粒剤	アフェート粒剤	1B		6kg/10a		発生初期	株元散布	5回以内	きく、宿根アタ、カネシヨシ、アリウム、たであいを除く
	コフプロアンプル	クロルフェニル水和剤	13	劇	2000倍	150～300%/10a	発生初期	散布	2回以内	きく、スタッフを除く
	ノモト乳剤	テフルベンスロン乳剤	15		2000倍	100～300%/10a	発生初期	散布	2回以内	